



平成 29 年 8 月 3 日

各 位

会 社 名 株式会社 P A L T E K
 代 表 者 名 代表取締役社長 矢 吹 尚 秀
 (コード番号 7587 東証第二部)
 問 い 合 わ せ 先 取締役オ^ホレ^ーションサービス
 デ^ィビ^ィジョン本部長 井上博樹
 (TEL 045-477-2000)

平成 29 年 12 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想値と決算値との差異 および平成 29 年 12 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 5 月 9 日に公表した平成 29 年 12 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想値と本日公表の決算の実績値との間に差異が生じ、また、通期連結業績予想を修正しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

●業績予想値と実績値の差異について

平成 29 年 12 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想値と実績値の差異 (平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株 当 たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	16,700	600	640	420	38.34
今回実績値 (B)	16,074	533	563	370	33.82
増 減 額 (B - A)	△625	△66	△76	△49	—
増 減 率 (%)	△3.7	△11.2	△12.0	△11.8	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 12 月期第 2 四半期)	17,286	96	116	51	4.72

●業績予想の修正について

平成 29 年 12 月期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株 当 たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	34,200	1,320	1,280	840	76.68
今回修正予想 (B)	32,500	1,050	1,060	700	63.90
増 減 額 (B - A)	△1,700	△270	△220	△140	—
増 減 率 (%)	△5.0	△20.5	△17.2	△16.7	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 12 月期)	33,544	515	110	11	1.05

●第2四半期（累計）連結業績予想数値と実績値の差異の理由

第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は半導体事業において通信インフラ向けの特
定用途ICおよびスーパーコンピュータ向けにメモリやアナログ半導体が堅調に推移したものの、通信
機器向けFPGAが想定よりも減少しました。また、デザインサービス事業においても医療、航空／宇
宙向けが想定よりも低調に推移したこと、自社製品開発が当初の想定よりも遅延し技術者を受託開発案
件に割り当てられなかったことにより見通しを下回って推移しました。

営業利益については、販売費及び一般管理費は想定を下回ったものの、収益性の高いデザインサービ
ス事業の売上高が想定よりも減少したことを受け、見通しを下回りました。経常利益および親会社株主
に帰属する四半期純利益については営業利益が減少したことを受け、見通しを下回りました。

●連結業績予想の修正の理由

通期連結業績予想につきましては、上述の第2四半期連結（累計）連結業績結果に加え、下期におい
て以下のような状況が見込まれるため修正しております。

下期において売上高につきましては、半導体事業においてスーパーコンピュータ向けにアナログ半導
体が堅調に推移することが見込まれる一方で、民生機器向けのメモリ製品が想定よりも低調に推移する
ことが見込まれます。またデザインサービス事業において、医療、航空／宇宙向けが低調に推移するこ
と、および自社製品の更なる開発を実施することで受託開発案件への技術者の割り当てが減ることによ
り、売上高は減少する見通しです。

利益面につきましては、売上高減少による売上総利益の低下に加え、直近でドル円相場が円高に進行
していることにより、当社が仕入先に対して保有する仕入値引ドル建債権の評価額の減少を含む為替レ
ート変動による影響が第3四半期において△92百万円発生すると見込んでおります。業績予想の前提為
替レートは7月末の110.32円としております。この為替変動の影響が原価を押し上げることにより、
営業利益が減少する見込みです。

経常利益につきましては、営業利益が減少したことに加え、7月に為替差益が62百万円発生したこ
とを勘案し、業績予想を修正しております。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、
経常利益の減少に伴い業績予想を下回る見通しです。

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不
確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合
があります。

以 上